



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 ナラサキ産業株式会社 上場取引所 東 札  
コード番号 8085 URL <https://www.narasaki.co.jp/>  
代表者 （役職名）代表取締役社長兼社長執行役員 （氏名）中村 克久  
問合せ先責任者 （役職名）常務執行役員 経営管理本部副本部長 （氏名）長谷川 昌史 TEL 03-6732-7355  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	49,396	2.4	970	△20.1	1,025	△19.4	657	△21.6
2024年3月期中間期	48,224	9.0	1,215	22.1	1,271	21.2	838	22.8

（注）包括利益 2025年3月期中間期 358百万円（△63.0%） 2024年3月期中間期 969百万円（69.1%）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	130.21	ー
2024年3月期中間期	167.25	ー

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	53,239	24,460	44.9
2024年3月期	60,649	24,560	39.6

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 23,912百万円 2024年3月期 24,031百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	ー	0.00	ー	105.00	105.00
2025年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2025年3月期（予想）	ー	ー	ー	105.00	105.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	2.4	3,200	7.3	3,200	3.8	2,200	△4.4	437.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 — 社 (社名)

、 除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	5,325,600株	2024年3月期	5,325,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	259,435株	2024年3月期	287,957株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	5,048,760株	2024年3月期中間期	5,013,172株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2024年5月8日に公表しました業績予想に変更はございません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(会計方針の変更に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に加え、企業業績や設備投資が持ち直したことにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、緊迫化する国際情勢や資源・エネルギー価格の高騰、物価上昇などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループでは本年4月からスタートした中期経営計画の基本方針に基づき、持続的成長と更なる企業価値向上の実現に向け、グループ総合力の発揮、収益性強化と生産性向上などに取り組んでまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は493億96百万円(前年同期比2.4%増)となりました。利益面においては、給与改定や本社移転に伴う販売費及び一般管理費の増加等により、営業利益は9億70百万円(前年同期比20.1%減)、経常利益は10億25百万円(前年同期比19.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は6億57百万円(前年同期比21.6%減)となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

#### (電機関連事業)

建築設備分野では、建築需要は底堅い状況が続きましたが、後半には在庫調整の動きも見られ、制御機器等の販売に影響を及ぼしました。一方、生産設備分野では、生成AIを含む半導体市場が回復傾向にあり、レーザ加工機等の販売が順調に推移しました。

以上の結果、売上高は120億43百万円(前年同期比0.3%減)、セグメント利益は4億34百万円(前年同期比30.1%減)となりました。

#### (機械関連事業)

大型案件の受渡しがあった前年同期と比べ減収となりました。また、農業施設分野及び産業機械分野において、効率化・省人化や環境関連などの受注は順調に進んだものの、案件の受渡しが年度後半以降となるため、収益面は低調に推移しました。

以上の結果、売上高は34億15百万円(前年同期比32.0%減)、セグメント損失19百万円(前年同期はセグメント利益2億12百万円)となりました。

#### (建設・エネルギー関連事業)

建材分野では、高速道路工事向けの道路・橋梁資材の受渡しや、北海道新幹線関連工事における生コン・資材の出荷等が順調に推移しました。建設機械分野では、道路関連機械の販売は順調でしたが、コンクリート関連機械は伸び悩みました。エネルギー分野では、市場価格の高止まりによる価格競争など厳しい市場環境が続く中、ガソリン等の販売量の確保に努めました。

以上の結果、売上高は255億58百万円(前年同期比10.6%増)、セグメント利益は3億7百万円(前年同期比33.7%増)となりました。

#### (海運関連事業)

連結子会社のナラサキスタックス(株)では、円安や天候不順の影響を受け、荷動きは総じて減少しましたが、新規貨物の獲得に努めたほか、苫小牧等における鋼材の取扱いや半導体関連の貨物輸送が好調に推移しました。

以上の結果、売上高は83億79百万円(前年同期比4.6%増)、セグメント利益は2億63百万円(前年同期比72.0%増)となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末の総資産は532億39百万円となり、前連結会計年度末に比べて74億10百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少49億76百万円、電子記録債権の減少23億87百万円、現金及び預金の減少17億96百万円、有形固定資産の増加10億78百万円であります。

負債は287億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて73億10百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少54億69百万円、電子記録債務の減少21億22百万円であります。

純資産は244億60百万円となり、前連結会計年度末に比べて99百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて5.3ポイント増加し、44.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は132億51百万円(前年同期は131億37百万円)となり、前連結会計年度末に比べて17億96百万円の減少となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億83百万円の収入(前年同期は13億86百万円の収入)となりました。主な収入項目は、売上債権及び契約資産の減少額73億64百万円、税金等調整前中間純利益9億94百万円及び契約負債の増加額5億72百万円であり、主な支出項目は、仕入債務の減少額75億92百万円、前渡金の増加額6億1百万円及び法人税等の支払額3億99百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、14億25百万円の支出(前年同期は4億5百万円の支出)となりました。主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出11億46百万円及び長期前払費用の支出2億80百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億52百万円の支出(前年同期は6億29百万円の支出)となりました。主な支出項目は、配当金の支払額5億33百万円及び長期借入金の返済による支出1億35百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年5月8日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,076	13,280
受取手形、売掛金及び契約資産	19,963	14,986
電子記録債権	5,895	3,507
商品及び製品	2,258	1,959
仕掛品	374	360
原材料及び貯蔵品	55	47
その他	1,124	2,255
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	44,744	36,394
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,050	4,538
その他(純額)	3,622	4,213
有形固定資産合計	7,673	8,752
無形固定資産		
128		114
投資その他の資産		
その他	8,107	7,982
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	8,102	7,977
固定資産合計	15,904	16,844
資産合計	60,649	53,239

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,931	11,461
電子記録債務	9,565	7,442
短期借入金	1,250	1,250
1年内返済予定の長期借入金	267	262
未払法人税等	456	326
賞与引当金	502	470
その他	2,462	3,202
流動負債合計	31,436	24,417
固定負債		
長期借入金	410	280
特別修繕引当金	111	115
退職給付に係る負債	991	998
その他	3,139	2,966
固定負債合計	4,652	4,360
負債合計	36,088	28,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	1,301	1,328
利益剰余金	18,470	18,594
自己株式	△535	△482
株主資本合計	21,590	21,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,674	1,401
繰延ヘッジ損益	△0	△3
退職給付に係る調整累計額	766	718
その他の包括利益累計額合計	2,440	2,116
非支配株主持分	528	548
純資産合計	24,560	24,460
負債純資産合計	60,649	53,239

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	48,224	49,396
売上原価	42,912	44,039
売上総利益	5,311	5,357
販売費及び一般管理費	4,095	4,386
営業利益	1,215	970
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	57	67
持分法による投資利益	4	3
その他	32	25
営業外収益合計	95	97
営業外費用		
支払利息	21	22
その他	17	20
営業外費用合計	39	42
経常利益	1,271	1,025
特別利益		
固定資産売却益	5	2
特別利益合計	5	2
特別損失		
固定資産処分損	1	5
貸借契約解約損	—	28
特別損失合計	1	33
税金等調整前中間純利益	1,276	994
法人税、住民税及び事業税	416	269
法人税等調整額	4	42
法人税等合計	421	312
中間純利益	855	681
非支配株主に帰属する中間純利益	16	24
親会社株主に帰属する中間純利益	838	657

## (中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	855	681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	136	△271
繰延ヘッジ損益	4	△4
退職給付に係る調整額	△26	△47
その他の包括利益合計	114	△323
中間包括利益	969	358
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	945	332
非支配株主に係る中間包括利益	23	25

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,276	994
減価償却費	299	314
長期前払費用償却額	2	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	△32
退職給付に係る資産負債の増減額	1	△68
その他の引当金の増減額(△は減少)	16	4
受取利息及び受取配当金	△57	△67
支払利息	21	22
持分法による投資損益(△は益)	△4	△3
固定資産処分損益(△は益)	△4	3
賃貸借契約解約損	—	28
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△1,667	7,364
棚卸資産の増減額(△は増加)	△590	322
仕入債務の増減額(△は減少)	1,598	△7,592
前渡金の増減額(△は増加)	158	△601
契約負債の増減額(△は減少)	232	572
その他	605	△522
小計	1,889	736
利息及び配当金の受取額	62	72
利息の支払額	△21	△22
法人税等の支払額	△530	△399
その他	△14	△3
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,386</b>	<b>383</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△132	△1,146
有形固定資産の売却による収入	4	2
長期前払費用の取得による支出	△7	△280
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	—	4
貸付けによる支出	△3	△2
貸付金の回収による収入	4	3
差入保証金の差入による支出	△247	△2
その他	△19	0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△405</b>	<b>△1,425</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△143	△135
自己株式の売却による収入	23	27
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△374	△527
非支配株主への配当金の支払額	△5	△5
その他	△129	△111
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△629</b>	<b>△752</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	355	△1,796
現金及び現金同等物の期首残高	12,782	15,048
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,137	13,251

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建設・ エネルギー 関連事業	海運 関連事業	合計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
顧客との契約から生じる収益	12,083	5,023	23,097	8,013	48,217	—	48,217
その他の収益	—	—	6	—	6	—	6
外部顧客への売上高	12,083	5,023	23,103	8,013	48,224	—	48,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	171	5	177	△177	—
計	12,083	5,023	23,275	8,019	48,402	△177	48,224
セグメント利益	621	212	229	153	1,216	△0	1,215

(注) 1 セグメント利益の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△5百万円、セグメント間取引消去額4百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建設・ エネルギー 関連事業	海運 関連事業	合計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
顧客との契約から生じる収益	12,043	3,415	25,551	8,379	49,390	—	49,390
その他の収益	—	—	6	—	6	—	6
外部顧客への売上高	12,043	3,415	25,558	8,379	49,396	—	49,396
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	317	2	320	△320	—
計	12,043	3,415	25,876	8,381	49,716	△320	49,396
セグメント利益又は セグメント損失(△)	434	△19	307	263	985	△14	970

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△6百万円、セグメント間取引消去額△7百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。